

R3_冬号のトピックス

緊急事態宣言をはじめ様々な規制が解かれ、街も賑わいを取り戻してきましたが、油断することなく、引き続き感染拡大防止対策を徹底していきます。

さて、西技環境ニュース R3_冬号では、下記トピックスをご紹介します。

- ✓ グリーンインフラについて
- ✓ 風力発電所の環境影響評価法対象規模の見直しについて
- ✓ 環境部の主な業務内容（R3年度）
- ✓ アサリが食卓から消える！？

今年も福岡の湿地にクロツラヘラサギが渡ってきました



グリーンインフラについて

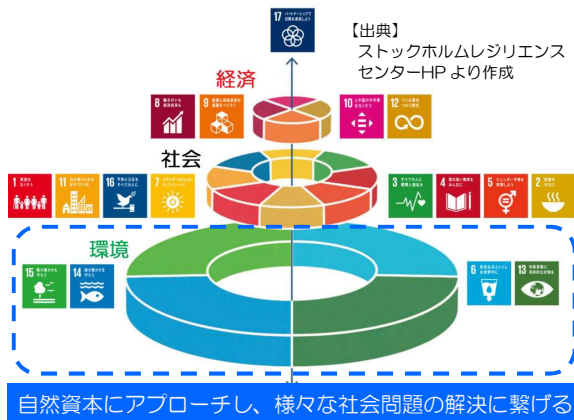
気候変動や災害激甚化など、私たちを取り巻く様々な社会課題を解決するキーワードのひとつとして、「グリーンインフラ」が注目されています。詳しくはよく知らない・・・という方のために、簡単にご紹介します。

【グリーンインフラとは】

グリーンインフラとは「Green Infrastructure」の略称です。

我が国では2015年頃から政府文書に使われ始め、2019年公表の「グリーンインフラ推進戦略」において【社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組】と定義されています。

グリーンインフラは、カーボンニュートラルや流域治水、SDGsの目標達成にも貢献するものとして、各分野で社会実装が進みつつあります。



自然資本にアプローチし、様々な社会問題の解決に繋げる

グリーンインフラの例



【グリーンインフラの多面的機能】

グリーンインフラの最大の利点は「多機能性」です。その土地にある自然環境等の機能を活用することは、生物多様性を守るだけでなく、防災・減災、気温調整、CO₂の吸収、水や農作物の供給、教育や文化継承、健康増進、地域振興等の様々な恩恵（生態系サービス）を得ることに繋がります。

グリーンインフラという言葉自体は比較的新しいですが、例えば宮崎県の北川にある霞堤（かすみてい）等の伝統工法や遊水地等の治水事業、水害防備林・防風林、市街地の緑化、庭や農地での雨水貯留・浸透など、昔から取り組まれてきたものも多く、私たちの暮らしの中で様々な機能を発揮しています。また、既存のインフラと組み合わせ、より多様な機能を持たせることもあります。

【お財布にも優しい？グリーンインフラ】

「自然の営みを取り入れると、手間やお金がかかるのでは？」と思われるかもしれませんが、グリーンインフラは、既にある場や資源、自然の営みや回復力を活用したり、多様な主体との連携等の工夫を行ったりすることにより、導入や維持管理のコストダウンを図ることが可能です。また、美しい景観や心地よい空間の創出、人のコミュニケーションの活性化などにより、土地の資産価値や生活の質の向上や新たな産業の創出に繋がった事例もあり、投資面の期待も高まっています。

【西技環境部の取組】

西技環境部では、グリーンインフラの多機能性を活かした事業の計画立案・設計・モニタリング・環境教育・普及啓発等を実施しており、「応用生態工学学会」や「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」等にも参画し、グリーンインフラの情報共有や普及に向けた取組を行っています。



【提案事例】

河道掘削を行う際の形状を工夫することで、グリーンインフラとして治水対策と湿地再生を両立

河川・海岸・農地・住宅などあらゆる場面で機能し、日々の生活の質の向上や自然と調和した持続可能な社会づくりにも繋がるグリーンインフラ。身近なところからちょっとずつ取り入れてみませんか？

本記事は酒井が担当しました。お気軽にお問合せください！

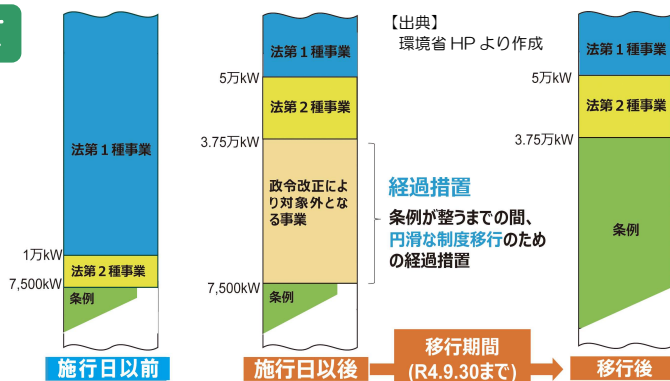
風力発電所の環境影響評価法対象規模の見直しについて

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの主力電源化に向けた取組が加速していることを踏まえ、風力発電所における環境影響評価法対象規模の見直しが行われました。

（政令はR3.10.31施行）

詳細は環境部まで！

	施行日以前	施行日以後
第一種事業	1万kW以上	5万kW以上
第二種事業	0.75万kW以上 1万kW未満	3.75万kW以上 5万kW未満
経過措置内容	移行期間中経産大臣による法アセス手続要否の判定は 必須移行 後経産大臣による判定は 任意 （条例未制定の場合、事業者の手戻りを防ぐための措置）	



環境影響評価法施行令の一部を改正する政令の概要

環境部の主な業務内容(R3 年度)

R3.11 時点での主な業務内容は、以下のとおりとなっています。

官公庁事業関連（国内）		官公庁事業関連（国外）	
国交省	遠賀川水系自然再生事業モニタリング調査業務	JICA	エチオピア国アルトランガノ地熱発電事業準備調査
	遠賀川水系水辺現地調査(陸上昆虫類)業務		キューバ国電力セクターマスタープラン策定プロジェクト
	球磨川流域環境調査(魚類外)業務	PT,PLN	インド 初国地熱開発における中長期的な促進制度設計支援プロジェクト 2
	球磨川流域環境調査(植物)業務		インド 初国国有地熱発電事業者の新規開発地点に関する情報収集・確認調査
	球磨川流域環境調査(陸上昆虫類外)業務	民間事業関連	
	川辺川周辺環境調査(植物外)業務	環境調査	ダム水質や排砂事業に伴う環境調査、植物モニタリング、騒音等生活環境調査、通砂に関する調査・解析、魚類迷入防止対策検討 など
福岡県	那珂川 河川水辺の国勢調査業務委託	予測評価	法 洋上風力や陸上風力新設に係る環境影響評価、事後調査、環境監視対応 など
	宝満川ホテル生息環境検討業務委託	対策検討	
熊本県	長洲港機能保全対策検討(環境調査)委託	環境影響評価	自主 送電線工事に伴う希少植物、猛禽類調査、地熱開発に係る猛禽類や動植物調査、水力発電に係る現況調査・予測・評価 など
	塩屋漁港機能保全事務(環境事後調査)委託		
長崎県	浦上ダム建設工事(環境影響検討業務委託)		
和泊町	和泊ライフ版 COOL CHOICE の普及事業	海外業務	ジブチ国地熱開発に係る環境社会配慮調査
知名町	エコイベント運営委託		

国土交通行政功労表彰を受けました！

- 遠賀川河川事務所長表彰：遠賀川水系河川環境管理シート検討業務 優良施工業者（業務部門）／優秀技術者（業務部門）堀田剛広
- 山国川河川事務所長表彰：令和2年度山国川管内水辺現地調査（鳥類）業務 優良施工業者（業務部門）／優秀技術者（業務部門）酒井奈美
- 長崎河川国道事務所長表彰：令和2年度本明川水系河川水辺の国勢調査（底生動物）業務 若手優秀技術者（業務部門）椿 賢太

アサリが食卓から消える！？

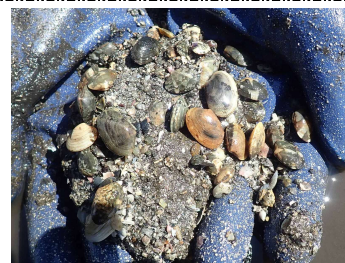
アサリの御味噌汁が
食べられなくなる！？

普段何気なく御味噌汁などで食べているアサリですが、近年全国的に個体数が減少しています。日本有数のアサリ産地として知られる有明海の干潟でも、様々な原因により漁獲量が減少しており、熊本県では、2020 年度のアサリ漁獲量（速報値）がなんとゼロでした。今回は、このままでは食卓から消えてしまうかもしれないアサリのお話です。



【アサリの生態】

春と秋の産卵期に親貝から放出された精子と卵子は、海中で受精し受精卵となります。孵化後は浮遊幼生として水中を漂いながら、植物プランクトンを餌に成長し、2～3週間後に干潟へ着底します。着底後は二枚貝として水管を用い、水中に混じる有機物を餌にしなが大きくっていきます。アサリを含む二枚貝は、餌を取る際に海水をろ過することから、海域の水質浄化に重要な役割を果たしています。



健全な干潟では、ひとすくいでこのとおり！

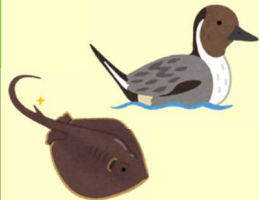
【減少の原因】

アサリが減少した原因は、乱獲、生息環境の悪化、食害、餌不足、競合生物など様々なものが複雑に絡んでいます。以下に一例をご紹介します。

エイ類などによる食害

下の写真のくぼ地は、アカエイがアサリを食べた跡です。その他、クロダイやカモ類もアサリを食べることが明らかになっています。

このようなくぼ地はエイ類の仕業！



ホトトギスガイマツトによる底質環境の悪化

アサリとライバル関係にあるホトトギスガイが、増加傾向にあります。本種は、干潟上で一塊になって生息することで泥状のマツトを作り、このような泥環境ではアサリは生息できません。



ホトトギスガイ



ホトトギスガイマツト

【対策と今後の展望】

アサリ資源量回復のため、底質環境改善を目的とした干潟の耕耘や砂礫の散布、稚貝の着底促進、親貝の保護等様々な取組が行われていますが、なかなか上手くいかない現状があります。このため、各干潟環境の問題を分析・評価し、必要な対策技術の提案が大事だと感じています。

環境部では、全社大の研究費用を活用し、大学・漁協と共同でアサリの稚貝を増やす研究を実施しています。アサリ漁獲量の増加に繋がる成果が得られるよう、日々取り組んでいます。

本記事は、干潟などの浅海域を専門とする石松が担当しました。

業務をバリバリこなしつつ、ふるさとしてある熊本のアサリ漁獲量増に貢献すべく、日々奮闘中です！